

学校教育目標

「感動を分かち合おう 目標を高く掲げよう 真理を追究しよう」  
 ○自らの生き方を創り出す子どもを育てます。【知】  
 ○個性豊かに生きる子どもを育てます。【徳】  
 ○たくましく生きる子どもを育てます。【体】  
 ○横浜に生きる子どもを育てます。【公・開】

学校保健目標

自らが健康・安全についての認識を高め、健康生活に関する諸問題を的確にとらえ、解決する能力や態度を養うとともに、進んで健康安全の保持増進に努め、生命を大切にすることも育みます。自ら進んで健康で安全なライフスタイルの確立を目指す子どもの育成をめざします。  
 \*「チーム鴨志田」として、全職員で、健康で、安全・安心な、活力と魅力のある学校づくりを目指します。

健康教育学年目標

1年	基本的な生活習慣と、自己の健康を維持・管理することの大切さを学び、一人ひとりが大切な存在であることに気づき、お互いの人格を尊重しあう態度を育成し、心と体の変化について理解を深めます。
2年	自他の生命を尊重するとともに、自己の存在を肯定的に受けとめ、思いやりと優しさを育み、望ましい人間関係を築いていくために、より適切な意志決定に基づく行動選択の能力や態度を育成します。
3年	賢明な意志決定や行動選択の能力を高めるとともに、社会的な視野をもち、生涯を通じて健康で安全な自立した生き方をめざそうとする資質を育成します。
個別級	一人ひとりの課題にそった健康・安全についての学習を進め、自分の心と体を大切にできる姿勢と、支援依頼のできる能力と態度を養います。

小中一貫教育の取組

鴨志田中	ブロック	: 鴨志田中・鴨志田第一小・鴨志田緑小
9年間で育てる子ども像	◎「あったかい」に表される豊かな気持ち、地域を思いやる気持ちをもつ◎互いを認め合い、伝え合い学びあう子◎主体的に学習にとり組む子◎運動に楽しく取り組み、健やかな体をはくもとする子◎リーダーシップを発揮し、貢献する子	
自校の具体的な取組	・ブロック内小中合同授業研で、9年間を見通した小学校との学習の接続を意識し、テーマに基づく授業づくりを進める。 小中合同引き渡し訓練を行い、保護者とも連携して緊急時に備える。 ・目指す子ども像を共有しながら、ブロック内の部会(児童生徒指導・特別支援教育・児童生徒会・学校保健委員会)における情報交換と共有を充実させる。	

健康教育の指導の重点

豊かな心	誰もが安心して豊かに過ごせる学校を目指して、自他の人権を尊重し、豊かな人間関係を育む生徒を育てる。	①教育相談や各種アンケート等の結果を学年間・職員間で共有し、相互理解の充実を図る。②道徳教育を多角的・多面的な見方へと広げられるように、議論する授業を推進する。③生徒会を中心に「あいさつ運動」等に取り組む。すべての生徒が安心して豊かに生活できる「あたたかい学校」作りの具現化を継続する。
健やかな体	運動に親しみ、体力向上に取り組む姿勢を養う。健康に対する認識を高め、その保持・増進を目指す。	①新体力テストの結果から、体力向上に向けて生徒一人ひとりの具体的な目標を定め、体力向上を目指し、継続して実践する。②一校一実践運動である「縄跳び」に授業の導入で、継続して取り組み、体力の向上を図る。③学校保健委員会による活動を、クラスや個人で生かせるような取組を継続的に実践し、基本的な生活習慣の確立を目指し、体力づくりの向上に努めるとともに食の大切さと睡眠について取り組む。
特別支援教育	通級指導教室設置校の強みを生かしてその指導方法を共有し、特別支援教育の充実を図ることで、学校全体の指導力を高める。	①より充実した校内研修を実施し、スクリーニングや「学校生活で困っていることに関するアンケート」等の結果を踏まえ、全職員が生徒個々の特性に応じた多様なニーズに対応できるようスキルアップを図る。②特別支援教育委員会を週1回ペースで定期的に開催することを継続し、配慮を要する生徒の情報と対応について共有する。③スクールカウンセラーや関係諸機関(SSW等)との連携を密にし、適切な支援方法を実践する。
いじめに関する項目	校内生徒支援体制を確立、組織的な情報共有・対応を行う。生徒一人ひとりの特性理解を促進し、受け入れられていると実感できる受容的な環境をつくる。	①「子どもの社会的スキル横浜プログラム」等を実施し、授業、学校行事の場面で活用を継続する。②アンケートなどからも声を吸い上げ早期発見に努める。生徒一人ひとりの状況について記録を作成し、校長をリーダーに主幹教諭・学年教諭・生徒指導専任等からなるチームによる支援と学校運営協議会との連携も推進する。③「いじめ防止基本方針」の改定を受け、その周知を図る。

教科学習	道徳	特別活動等	総合的な学習の時間
学習活動を通じ、より豊かな生活を送るための基礎・基本となる知識の理解を深めます。 保健体育科・保健分野の学習の充実をはかり、自らの行動を選択決定し、よりよく生きようとする人間の形成を目指します。	生命と人権を尊重し、豊かで優しい気持ちを持ち、互いに認めあひながら共に生きることの大切さを学びよりよく生きていこうとする人間の育成を目指します。 自他の権利を尊重し、差別や偏見のない社会を実現しようとする強い意志を持ち、支えあひ共に生きようとする人間の育成を目指します。	集団活動を通して、心身の調和のとれた発達と、個性の伸長をはかり、人間としてのよりよい生き方について自覚を深め、健康で安全な生活を送るための態度や習慣を育てます。 豊かな人間関係を築き、適切な判断や意思決定のできる資質を育てます。	健康教育学習を通して、自分自身がかけがえない大切な存在であることに気づき、主体的に生きよとする態度を育てます。 心と体の健康や環境問題について、科学的に学ぶことにより、自ら考え、問題を解決することのできる資質と能力を育てます。 自立をめざし、適切な情報を選択することのできる重要性を理解し、批判力・判断力を高め、適切な価値観を形成し、将来を見通した生き方について考えることのできる、資質と能力を育てます。
食教育	生涯にわたり、健康で豊かな生活を送るための望ましい食習慣を身に付けて、食事を通して自らの健康管理を心掛けようとする態度を育てます 【正しい知識・情報・食物の品質及び安全性について判断、食物及び生産者への感謝の気持ち、食事のマナー、各地域の産物、食文化や歴史等】		

教科・領域以外の教育活動	健康・安全でより豊かな生活を営むために必要なことから体得させ、社会的自立を目指すとともに、生涯にわたり自らの生き方を主体的に考え行動することができる資質と、心と体の健康を積極的に保持増進することのできる態度を養います。
--------------	---

家庭・地域社会への働きかけと連携及び組織的支援